

シリーズ —家庭看護のコツ—

その11

体が冷えて眠れないとき、足浴をしてみましょう。足が温まれば、きっと眠れます。

- ①お湯の温度は、37~39度のぬるめに。
- ②タオルに石けんをつけて、指の間やかかとを念入りに洗う。
- ③あがり湯をかけてよくふく。



相談は……

保健婦人センター ☎64-8992

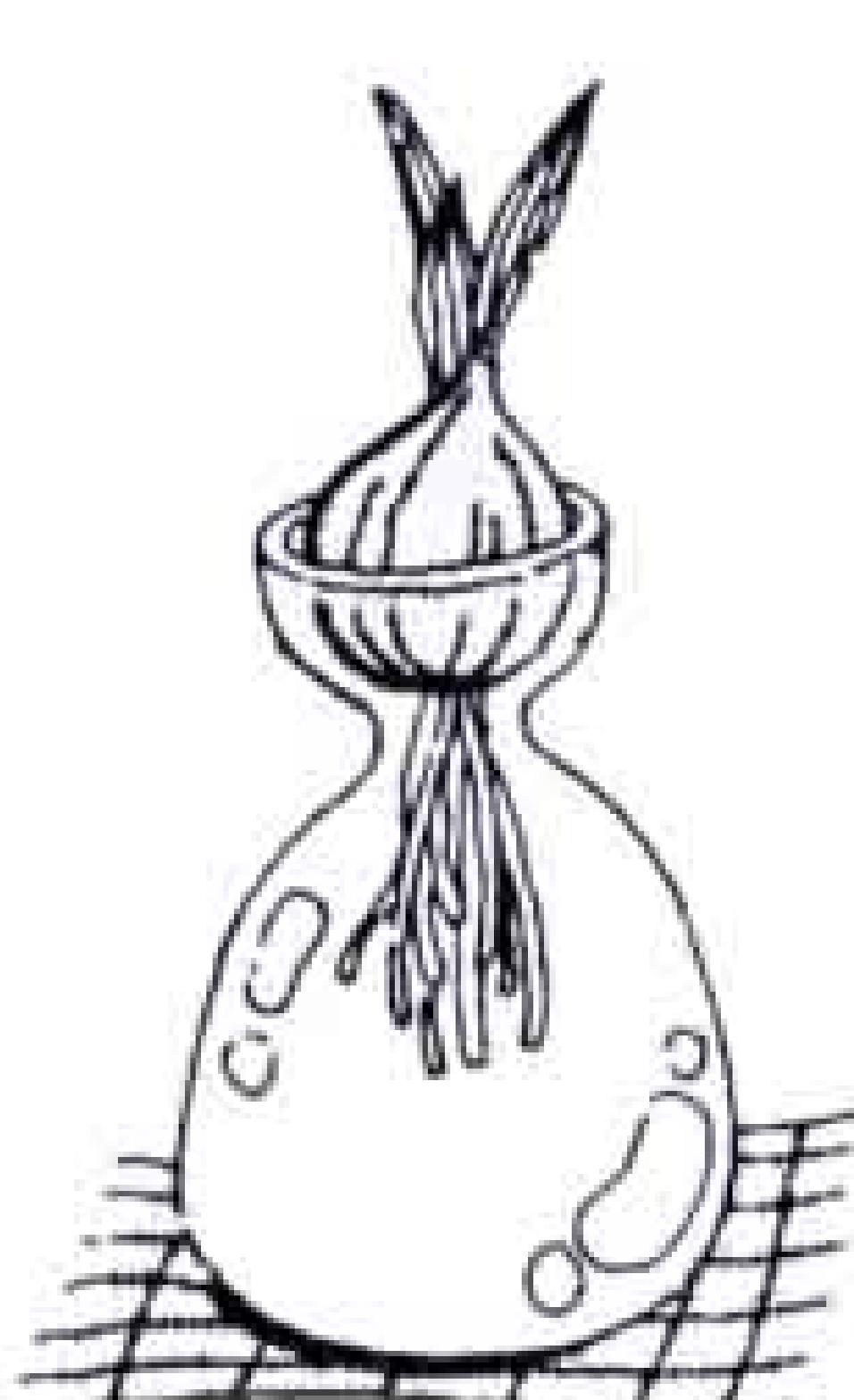
渡辺真弓さん
内線二三四七

成人式を迎えた皆さん。もう、国民年金には加入しましたか。選挙権と同じように、二十歳になつたら国民年金。加入してこそ、本当の大人の仲間入りしたことになります。

国民年金課の渡辺真弓さんが、年金についてお知らせします。

二十歳になる前の月に『年金資格調査票』をお送りしています。加入の手続は簡単。一緒にいる『加入届』を送り返すだけ。学生で収入がなかつたり、保険料を納めるのが大変な場合には、免除制度をご利用ください。

国民年金に加入して 大人の仲間入りを



あなたの生活便利メモ

こちら編集室

和服姿もあでやかな成人者が、成人式場に向かう。

まるで、きょうは、自分たちの天下のように。はつらつとした笑顔で「○○さん元気。昔と変わらないね」こんな会話が行き交う、

なごやかな光景。しかし、成人になったという価値感がいまひとつ欲しい。そう思うのは、おじさんのひとり言か。でも21世紀を担うことは確かに、とても力強い味方になつてくれます。

ウインタースポーツのシーズンです。中でも、スキーは人気のスポーツ。昭和28年ころのスキー板とストックを、市立博物館に寄贈していただきました。

個性派の道具たち

20

加藤昭五さん (中島)



このスキー板は、長さが二尺、幅は八寸あります。ストックの長さは一尺二寸半あります。輪の部分は竹でできています。

中島にお住いの加藤昭五さんが、昭和二十八年ころ買ったもので、板が七千円、靴は編み上げの登山靴のようにガツチリして

スキー板とストック

加藤さんは、バレーボーイ、テニス、剣道と、何でもこなすスポーツマン。スキーは、会社の仲間に誘われ二十五歳から始めました。自家用車などない時代でしたから、身延線の夜行に乗り甲府に一泊。朝一番のバスに乗つて、霧ヶ峰へ。

だから、滑りおりた後が大変。スキー板を担いで、また上まで登ります。半日も滑つていれば汗ビッショリ。腕前の方は、山から山へのスキーツアーができたそうです。

えは、恐ろしい女だ」と。『人の出会いもあるし、孫のおかげで、自分の潜在的なものがひき出されたって感じで、孫にも感謝してるんですよ』と、話してくれました。

遊々タイム(19) 【 風 】

6年前、お孫さんの生まれたのをきっかけに「一緒にたこ揚げをしたいから」と、たこづくりを始めた本市場の田澤昌代さん。以来、病みつきに。

「小刀やコンパスは、いいものだったらいくら出しても惜しくない」と言うほど凝りようで、金物屋さんに行くと、刀物の前から動けないそうです。

そんな昌代さんを見て、ご主人は笑いながら「おま

